

研究計画書

ゼミ名	奥田ゼミⅡ	チーム名	チーム・スミス
タイトル	職業によって給料が違うのはなぜか？		
テーマ群	f) 歴史・思想		
メンバー	瓦井康介 望月森 吉仲敦志 細川修作 真東大希		
研究計画内容	<p>皆さんは日々、職業によってこんなに給料が違うのはなぜだろうと疑問に思うことがあると思います。例えば、医者や弁護士、プロのスポーツ選手はなぜ収入が高いのかと感じると思います。さらに言うと、医者は開業医と勤務医に分けられ、スポーツ選手はプロとアマチュアに分けられ、企業は役員とサラリーマンに分けられ、職業は同じだが、それぞれで収入が異なります。</p> <p>古典派経済学の創始者で経済学の父と呼ばれるアダム・スミスの『国富論』の第 1 篇でも労働の賃金について論じられています。まず第 8 章では、契約交渉では雇用者側が有力になりがちだが、賃金の引き下げにも限界があり、むしろ高賃金こそが経済成長の証しだと強調されます。そして第 10 章では、「物事が自然の成り行きにしたがうままに放任」されても、「職業自体の性質によって」その報酬が異なるのは、次の 5 つの要素の度合いによると言われています。①その職業の快、不快、危険の度合い②職業の難易度③雇用の安定性④信頼性⑤成功の可能性</p> <p>その上でスミスは、「政策」的な規制や助成によって「ひきおこされた不均等」を批判するのですが、⑤の説明では、青年が職業を選択するとき、儲けのチャンスは過大評価され、損をするチャンスは過小評価される傾向にある、といった鋭い指摘があったりもします。</p> <p>研究内容は、このようなアダム・スミスの賃金論を紹介するとともに、現代と昔の職業の賃金はどのようにして決まっていたのかを比較し、明らかにしていきます。この研究結果から将来の進路や新たなビジネスの助力になればいいと考えております。</p>		